

ULT通信

あると

2017.6.8号 / vol. 71 発行 / ULT 図書館司書

6月はULTのアニバーサリー月間です。ULTは今年で9歳になりました！毎年6月はいろいろなイベントや利用特典があります。今回のULT通信を読んで、ぜひ足を運んでください。待ってます！

祝9歳

ULT アニバーサリー月間

アニバーサリーを記念して行われる特別企画を紹介します！

①

6月20日(火)放課後

ULT百選・読書マラソン座談会

ランナー同士の語りの場です。みんなで励ましながらゴールを目指そう！参加を迷っている人、興味のある人も当日ULTに集合！

②

6月21日(水)放課後

コーラス部ミニコンサート開催

美しいハーモニーがULTに響き渡ります。事前申し込みは不要。皆さん、ぜひ聞きに来てください。

③

付録抽選会開催

ULTで購入している雑誌の付録をこの機会に大放し！1回の貸し出しにつき、投票用紙が1枚もらえるので、欲しい付録の番号を書いてカウンターに出してください。付録の見本はULT1階に掲示中！

(抽選日は7月6日放課後です。当日来られなくても抽選には参加できます)

④

貸出点数増加 3点まで⇒5点まで

ULTの貸出可能資料はすべて対象になります(コミックもちろんOK!)。この機会に一気読み！

⑤

ULTオリジナルグッズプレゼント

6月に読書マラソンを始めた人限定です。何がもらえるかはお楽しみ！

⑥

図書委員作成特製垂れ幕&

ポスター掲示

垂れ幕はULT入り口正面に、ポスターは校内にも掲示してあります。図書委員・有志生徒による力作揃い！

「図書館は成長する有機体である (by ランガナタン)」という言葉があります。図書館は利用者があることで、初めて〈図書館〉となるのです。皆さんとともにこれからも成長する図書館でありたいものです。さあ、来年は10周年！

ULT NEWS

●ULT百選コーナーリニューアル！

6月から展示コーナーを一新！レベル1から読むもよし、難関のレベル5から手を付けるもよし。

●読書マラソン グループエントリー参加者募集中！

新しくグループエントリー制度を始めます。「友達同士で参加したい」「一緒なら頑張れるかも」という生徒の声をきっかけに生まれました。希望者はULTカウンターまで！




新着案内

5月の新着は35点でした。6月は新着ラッシュになる予定なので、ULT1階新着図書コーナーをこまめにチェックしてくださいね。

タイトル	著者	請求記号
朝日新聞縮刷版 2017年3月		071-アサ-2017-3
埼玉新聞縮刷版 2017年3月		071-サイ-2017-3

←あまり紹介する機会のない縮刷版。
1か月分の記事がまとめて読めます
リテラシーや進路でお世話になるはず。



こちらの小説は、
すべて生徒リクエスト。 →
リクエストはいつでも受付中。

タイトル	著者	請求記号
コーヒーが冷めないうちに	川口俊和	913.6-カワ
また、同じ夢を見ていた	住野よる	913.6-スミ
ナイルパーチの女子会	柚木麻子	913.6-ユス
狂気の巡礼	ステファン・グラビンスキ	989.8-Gr

タイトル	著者	請求記号
「読み」の整理学 (ちくま文庫)	外山滋比古	019.1-トヤ
<意識>とは何だろうか: 脳の来歴、知覚の錯誤 (講談社現代新書)	下条信輔	141.2-シモ
近代世界システム 1 農業資本主義と「ヨーロッパ世界経済」の成立	ウォーラステイン	332.3-Wa-1
アクティブ・ラーニングを動かすコーチング・アプローチ AL時代の教師に絶対必要な指導スキル51	神谷和宏	375.1-カミ
子宮の中の人たち リアルタイム妊娠まんが	EMI	598.2-エミ

←こちらもすべてリクエスト。
先生たちが読む本はやっぱり
難しきう (汗)



コラムde!!レ。



第71回は笹木が担当です。お題は「高校生の頃に図書館(図書室)で手に取った本」。わたしの高校の図書室はULTとは違いワンフロアで、入口付近に軽い読み物があり、部屋の真ん中に机がどんと並んだ閲覧/自習席があり、その奥に一般の書架があったように記憶しています。わたしは大体、入り口近くのコーナーで、通学電車ですむ文庫本を借りたり、友だちと待ち合わせする間に雑誌や漫画をめくったりしていました。奥の書架にはあまり行かなかったような…。文化祭でカレー屋さんをやったとき、BGMとしてインドの民族音楽のCDを借りたこともありました! TSUTAYAか! つまり高校時代は図書館のよいユーザーではなかったということですね。当時の自分に図書館の奥深さを教えてやりたい(笑)。

さて、そんなぬるい図書館ライフで手に取った中で印象深いのは、雑誌『ダ・ヴィンチ』です。“本とコミックの情報マガジン”、ULTにもありますね。新刊紹介や作家の特集などおもしろい記事がたくさんあったと思うのですが、何より強烈だったのが山岸涼子さんによる連載漫画『舞姫 テレプシコーラ』です。山岸涼子さんの漫画はそれまでに『アラベスク』や『日出処の天子』を読んでいて、繊細な美しい絵と綺麗事に取めない人物描写がとてもおもしろく刺激的でした。ただ『テレプシコーラ』は、さらに極まったというか予測の斜め上というか、絵はシンプルで記号的、ストーリーは驚きの連続。だってバレエものの少女漫画と思って読んだら、ものすごくブスで貧乏で親に児童ポルノへの出演を強要される女の子が出てくるんですよ! 刺激が強いどころの話ではありません。興味を持ったひとは、ULTに『日出処の天子』があるのでまず読み、気に入ったら『テレプシコーラ』はご自分でお買い求めください(=ULTにはたぶん入れません…)。

当時図書室で一緒に『ダ・ヴィンチ』を読んでいた友だちとは進学で別れ別れになったものの、「今月の『テレプシコーラ』あの展開なに?!」「『テレプシコーラ』また休載だね…」など、卒業後も連絡を取り合ったものでした。高橋さんは友だちと本を回し読みしたり、貸し借りしたり、読書体験を共有した思い出はありますか? 読書と友だちのこと、語ってください。